かわしんのSDGsへの取組み

『美しい地球と、笑顔あふれるこの街を、未来につないでいくために』

川崎信用金庫は国連が提唱するSDGs「持続可能な開発目標」の理念に賛同し、地域発展への貢献及び地域の皆さまとの連携を通じて、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

川崎市SDGsプラットフォームについて

KAWASAKI SDGs
川崎市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

当金庫は、「川崎市SDGsプラットフォーム」の事務局として、川崎市と共にSDGsの普及・促進に向けた活動を行っています。脱炭素に関するセミナーの開催や子どもたちへの食料の配布・試食イベントの開催、事業者のマッチングや取組み支援など、地域や地域の皆さまの持続可能な発展を目指しています。

Information

創立100周年を迎えました

2023年7月18日、創立100周年を迎えました。
100周年を迎えられたことに感謝し、次の100年も、地域の中小企業、ならびに地域に住み・働く方の夢の実現を応援する「この街のベストサポーター」であり続けるとともに、地域の持続可能な発展を目指してまいります。

～様々な100周年記念事業を行っています～

かわしんフォトコンテストの応募作品でモザイクアートを制作!

100周年記念オリジナルキャラクター
かわむす

かわむすオリジナルソングを作成しました!

↑詳しくは「創立100周年記念特設Webサイト」をご覧ください。

太陽光パネル設置融資「かわしんサンシャイン」取扱い開始

脱炭素社会の実現に向けて、太陽光パネルを導入しCO_2排出量の可視化に取り組む事業者の方々をサポートする融資商品、「かわしんサンシャイン」の取扱いを開始しました。環境保全に取り組まれる地域の皆さまのお手伝いができるよう、環境に配慮したカーボンゼロチャレンジシリーズ等の金融商品もご用意しております。

※詳しくはホームページをご覧いただくか、各営業店窓口までお問い合わせください。

しんきん法人ポータル「ケイエール」取扱い開始

しんきん法人ポータル、「ケイエール」の取扱いを開始しました。本サービスを利用いただくことで、インボイス制度や改正電子帳簿保存法への対応、複数金融機関の預金口座残高・入出金履歴の一括管理が可能となります。

ホームページをリニューアル!

より親しみやすいホームページを目指して、デザイン・ページ構成を見直しました。スマートフォンやタブレット等でも見やすいデザインになっています。また、サイト内検索の機能を追加し、必要な情報が見つけやすくなりました。

Topics 2023年度上期

4月
- かわしん百合丘ビル運営開始（職員寮・学生寮）
- 「かわしんエキサイトマッチ」開催
- 第16回　里山保全管理活動

5月
- クールビズ実施（5月～10月）
- 第30回「かわしん杯ジュニアサッカー大会」実施（5月～7月）
- 第48回ふれあい市場

6月
- 第44回「多摩川美化活動」に参加
- 第27回「信用金庫の日」に伴う献血・募金活動実施

7月
- 創立100周年
- 第32回「川崎ジュニア文化賞」表彰式実施

8月
- 第32回「川崎ジュニア文化賞」受賞者親善訪問（北海道中標津町）

9月
- 小さな善意「清拭クロス」寄贈

川崎信用金庫
〒210-0006
川崎市川崎区砂子2丁目11番地1

ご意見、ご質問などは下記のフリーダイヤルでお受けしています。

0120-119-034

土・日・祝日及び12月31日～1月3日を除く
午前9時～午後5時

ホームページのご案内

かわしん

https://www.kawashin.co.jp/

業務内容や商品・サービス、イベント情報、店舗・ATMのご案内、ディスクロージャー等、様々な情報がご覧いただけます。

かわしん レポート 2023.9月期

THE REPORT OF
KAWASAKI SHINKIN BANK

川崎信用金庫
https://www.kawashin.co.jp/

KAWASHIN 100th Anniversary

かわしん2023年9月期業務実績

ごあいさつ

日頃より、皆さまには格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

この度、2023年9月末現在における経営内容をお知らせする「**かわしん**レポート2023.9月期」を作成いたしました。ご高覧のうえ、一層のご理解をいただければ幸いに存じます。

地域全体の活性化が求められる中、これからも地域の中小企業、ならびに地域に住み・働く方の夢の実現を応援する“この街のベストサポーター”として、地域の持続可能な発展に寄与すべく全力で業務に取り組んでまいります。

今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申しあげます。

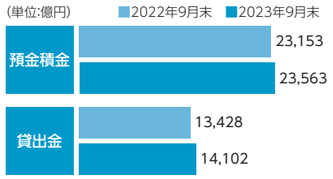
2023年11月

理事長　堤 和也

● 営業実績

(単位:億円)

	2022年9月末	2023年9月末	増減
預金積金	23,153	23,563	409
貸出金	13,428	14,102	673



預金積金は個人のお客さまの流動性預金が564億円増加したことにより、前年同月比409億円増加しました。

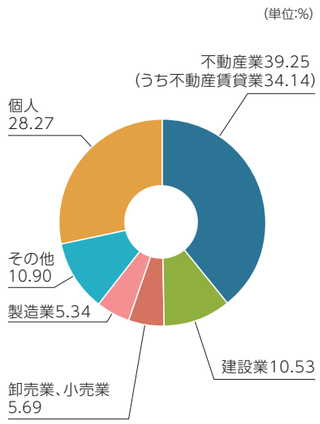
貸出金は事業者の方々への金融支援に積極的に取り組んだこと、住宅ローンの取扱いが好調であったことから、前年同月比673億円増加しました。

● 貸出金業種別内訳

(単位:百万円)

	2023年9月末	
	残高	構成比（%）
製造業	75,358	5.34
農業、林業	4	0.00
漁業	69	0.00
鉱業、採石業、砂利採取業	94	0.00
建設業	148,545	10.53
電気・ガス・熱供給・水道業	244	0.01
情報通信業	8,769	0.62
運輸業、郵便業	19,194	1.36
卸売業、小売業	80,297	5.69
金融業、保険業	4,366	0.30
不動産業	553,586	39.25
うち不動産賃貸業	481,486	34.14
物品賃貸業	2,585	0.18
学術研究、専門・技術サービス業	10,685	0.75
宿泊業	6,076	0.43
飲食業	18,225	1.29
生活関連サービス業、娯楽業	19,690	1.39
教育、学習支援業	3,876	0.27
医療、福祉	23,925	1.69
その他のサービス業	31,318	2.22
地方公共団体	4,617	0.32
個人	398,750	28.27
合計	1,410,282	100.00

貸出金業種別内訳（2023年9月末）



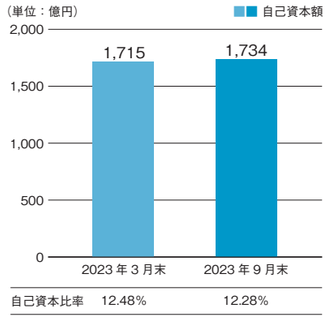
本資料に掲載する計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。
なお、本資料に関する諸計数等は、会計監査人の監査を受けておりません。

● 自己資本の構成と自己資本比率

(単位:百万円)

		2023年3月末	2023年9月末
出資金		1,114	1,098
利益剰余金		169,517	171,720
外部流出予定額（△）		65	－
一般貸倒引当金		1,845	1,773
コア資本に係る基礎項目の額	(A)	172,411	174,593
無形固定資産		841	1,122
コア資本に係る調整項目の額	(B)	841	1,122
自己資本額〔(A)-(B)〕	(C)	171,569	173,470
信用リスク・アセット額		1,328,878	1,366,846
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額		45,395	45,395
リスク・アセット等計	(D)	1,374,273	1,412,241
単体自己資本比率	(C)/(D)	12.48%	12.28%

自己資本の状況



自己資本比率は、貸出金の増加等により、2023年3月末比0.20ポイント低下し12.28%となりましたが、国内基準の最低自己資本比率である4%を大きく超える水準を維持しています。

● 収益状況

(単位:百万円)

	2022年4月～9月	2023年4月～9月	増減
業務収益	13,521	14,008	487
資金運用収益	11,245	11,466	220
役務取引等収益	2,179	2,401	221
その他業務収益	95	141	45
業務費用	10,073	10,292	219
資金調達費用	167	179	12
役務取引等費用	877	997	120
経費	9,024	9,182	158
その他業務費用	3	3	△ 0
一般貸倒引当金繰入額	－	△ 71	△ 71
業務純益	3,479	3,783	304
(コア業務純益)	3,479	3,712	233
経常利益	3,488	3,142	△ 346
当期純利益	2,613	2,269	△ 343

貸出金利息や手数料収入の増加により、業務収益は前年同期比4億87百万円増加の140億8百万円となりました。一方、複数の店舗で建替えが進行していることから物件費が増加。また、信用保険料負担も増えていることから、業務費用は前年同期比2億19百万円増加の102億92百万円となりました。

結果、業務純益は前年同期比3億4百万円増加の37億83百万円、経常利益は貸倒引当金の増加により3億46百万円減少の31億42百万円、当期純利益は3億43百万円減少の22億69百万円となりました。

● 保有有価証券の情報

(単位:百万円)

		2023年3月末	2023年9月末			増減
		評価差額	取得原価	時価	評価差額	評価差額
商品有価証券	債券	－	－	－	－	－
有価証券	債券	△ 3,474	139,383	133,660	△ 5,722	△ 2,248
	株式	15,858	7,257	27,321	20,064	4,206
	その他※	9,864	66,436	76,871	10,434	570
合計		22,248	213,077	237,853	24,776	2,527

※「その他」は投資信託、外国証券（ユーロ円債）等です。

金利の大幅な上昇により債券の含み損が増加したものの、株式等の含み益が大幅に増加したことから、保有有価証券全体の含み益は25億27百万円増加し、247億76百万円となりました。

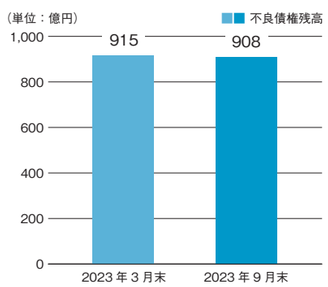
● 不良債権の状況

信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権の保全・引当状況

(単位:百万円)

		2023年3月末	2023年9月末	増減
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		4,469	5,320	851
危険債権		86,210	84,639	△ 1,570
要管理債権		868	868	－
三月以上延滞債権		－	－	－
貸出条件緩和債権		868	868	－
小計	(A)	91,548	90,829	△ 719
保全額	(B)	85,659	85,118	△ 540
個別貸倒引当金	(C)	4,661	4,971	310
一般貸倒引当金	(D)	1	1	0
担保・保証等	(E)	80,995	80,144	△ 851
保全率(%)	(B)／(A)	93.56	93.71	0.15
引当率(%)	[(C)＋(D)]／[(A)－(E)]	44.18	46.54	2.36
正常債権	(F)	1,281,424	1,320,269	38,844
総与信残高	(A)＋(F)	1,372,973	1,411,098	38,125

不良債権残高



2023年9月末現在の金融再生法上の不良債権は2023年3月末比7億19百万円減少し、908億29百万円となりました。総与信に占める不良債権の割合は6.43%となっています。